

# 平成28年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

施設名	大和市柳橋児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター柳橋会館管理運営委員会 会長 柴田 保
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

## 1. 事業報告概要

### 【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均 (人)	開館日数
柳橋	87	4,731	325	307	5,450	18	308

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員1名以上の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
一年生を迎える会（ゲーム・児童館の約束の説明）	4/10	13人
母の日のプレゼント作り（アイロンビーズ・カード）	4/27～	45人
七夕飾り・短冊作り	6/7～	130人
父の日のプレゼント作り（プラバンキーホルダー）	6/8～	41人
七夕のつどい（影絵の公演・映画・カレーパーティ）	7/2	150人
夏休みドミノチャレンジ①②	7/6・8/11	45人・21人
わくわくっ子クラブキャンプ	8/6～7	83人
敬老の日のプレゼント作り（だるまのストラップ）	9/6～	43人
避難訓練	11/25	22人
クリスマス会（マジックショー・プレゼント他）	12/3	124人
工作（クリスマスリースのストラップ）	12/7～	43人
お正月遊び（こま・羽根つき・かるた他）	1/4～	30人
節分会（豆まき）	2/3	22人
ひなまつり会（ひなまつりのお菓子作り）	3/3	20人
卓球教室・大会	3/23	43人

## 2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,514,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,253,947
雑入 (預金利息等)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	133,589
収入計 (①)	2,514,000	支出計 (②)	2,387,536
収支決算	126,464		

※収支差額 126,464 円は平成 29 年度特別会計予算に繰り入れます。

## 3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成 29 年 4 月に利用者アンケートを実施し、平成 28 年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

<p>評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の利用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。</li> <li>児童館利用者数が前年比 97.5%と若干減少していますが、月間では前年の 150%を超える月もあったことから、今後は成果のあった取組みについて振り返り、利用者の意見を精査し、更なるサービスの向上が図られることを期待します。</li> </ul>
<p>評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。特に遊びの中で児童同士の意見の違いが発生した場合も、児童同士で話し合っって答えをだすようアドバイスし、自主性を育てている点を評価します。</li> <li>利用者アンケートにおける、児童館で楽しみにしていることについて「卓球」と回答している割合が 70.2% (全館平均 58.3%) と高く卓球利用者が多く、ラケットなどの破損が多発した際に、生活指導として注意喚起するなど、物を大切にしながら利用者が楽しく卓球利用を継続できるように努めている点を評価します。</li> <li>わくわくっ子クラブとして地域の青少年指導員と共催で様々な行事を行っているほか、敬老の日には近隣の「まごころ地域福祉センター」に訪問し手作り工作をプレゼントするなど、地域における多世代交流を積極的に図っている点について、高く評価します。</li> <li>自主事業の企画内容や成果については、児童館指導員連絡会等を通じて積極的に他館へ情報発信することを期待します。また、他の児童館の人気イベントの事例を参考にしながら、児童により様々な体験の機会を与えられるよう、企画の広がりを図ってください。</li> </ul>
<p>評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。</li> <li>生活指導として、入館時の手洗いやハンカチ持参の呼びかけなど、利用者に継続的に働きかけた結果、利用者の意識が向上し習慣化されてきている点について評価します。</li> </ul>
<p>評価の視点 4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断します。</li> <li>指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。</li> </ul>